

1 国語に関する調査

【特長】

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができています。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができています。去年は課題であったが、漢字練習とともに身に付けた力を活用する指導を積極的に行った成果だと考えられる。

【課題】

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。文章を読む目的を明確にして必要な情報を捉える活動を設定していく必要がある。
- ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。自分の考えや思いを文章にまとめる活動や、場面に応じて伝え方の工夫の必要性を感じることができるよう活動を設定する。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・伴って変わる二つの数量関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出すことができています。
- ・小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて共通する単位を捉えることや、異分母の分数の加法の計算をすることができています。

【課題】

- ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。生活の中でも基準となる数を見だし、数量の関係を捉えさせる場面を繰り返し取り入れていく必要がある。
- ・「10%増量」の意味を解釈し、「増加後の量」が「増加前の量」の何倍になっているかを表すことに課題がある。数学的な用語や表現についての知識の習得と活用を繰り返しながら理解を深めていくことが必要である。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することがよくできている。

【課題】

- ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることについての知識が身についていない。問題解決や科学的な探究のプロセスを通して、身に付けた知識を活用することができるような指導の充実が必要である。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人が困っているときは、進んで助ける」と回答している児童が多い。
- 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じぐらいの時刻に寝ている・起きている」と回答している児童が多い。全体的に、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かる。

【課題】

- 「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強をするか」という質問に対して、平日も休日も「全くしない」「30分より少ない」と回答した児童が多い。家庭学習に進んで取り組めるような声掛けをしていく。
- PC、タブレット等のICT機器で文章を作成したり、情報を整理したりすることができると回答した児童が少ない。ICT機器を活用することを通して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えたり、情報を整理してまとめたりする活動を増やしていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 自分で学び方を考えて工夫できるように、様々な自己選択・自己決定する場面を設定するとともに、それらを家庭学習でも活用できるよう促す。
- ICT機器を活用することを通して、自分の考えや意見をまとめ、発信する活動を増やし、友達に分かりやすく伝えられるようにする。
- 自分のよさを実感できるように、道徳の授業や学級活動の中で、互いによさを伝え合い、自己肯定感を高めていく。また、教師からのノートへのコメントや日頃の声掛け等でも児童が認められていることが実感できるようにする。
- 学校教育目標である「お互いのチャレンジを支え合える学校」を目指し、児童も教職員もチャレンジする気持ちを大切に、互いを応援できるような温かな雰囲気づくりをしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 家庭学習や読書について、お子さんが自分で学習の計画を立てて取り組んだり、読書に親しんだりすることができるよう、お力添えをお願いします。
- 本校の重点目標を「あいさつでつながろう、やさしい言葉で支え合おう」としています。学校、家庭、地域が一丸となってこの目標を達成できるよう、ご協力をお願いします。
- 地域との関わりをとおして、子どもたちに地域や社会をよくするために何をすべきかのイメージをもたせたいと思います。地域、学校、家庭の結びつきが深められるよう、引き続きご支援をお願いします。